

北海道地方の社会資本の重点整備方針(素案) の概要(重点戦略・重点目標)

- ①グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現
 - ・食料供給力の強化と食にかかわる産業の高付加価値化・競争力強化 等
- ②地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成
 - ・自然共生社会の形成 等

- ③魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり
 - ・広域的な生活圏の形成と交流・連携強化 等
- ④内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上
 - ・国内外に開かれた広域交通ネットワークの構築 等
- ⑤安全・安心な国土づくり
 - ・頻発する自然災害に備える防災対策の推進 等

①食料供給力の強化と食にかかわる産業の高付加価値化・競争力強化

- ・食料供給力の強化に必要な用水の確保、防災対策の推進
- ・高規格幹線道路、多目的国際ターミナル等の一体的な整備による物流コストの縮減

【指標】

洪水による氾濫により浸水の恐れがある農地の面積：約11万ha(H19)→約6万ha(H24)

【主要事業】

- ・河川改修事業：千歳川遊水地群(恵庭市他)
- ・高規格幹線道路整備：北海道横断自動車道(夕張～占冠)(夕張市～占冠村)等
- ・多目的国際ターミナル整備事業：十勝港(広尾町)等



千歳川遊水地群

②自然共生社会の形成

- ・北海道の豊かな自然環境・生態系を維持保全し、次世代に引き継ぐため自然再生等の推進



【指標】自然再生事業により復元再生した水辺等に関する指標(湿地・干潟の再生の割合)：

1%(H19)→21%(H24) 等

【主要事業】

- ・河川・湿原の自然再生事業：釧路湿原(釧路市他)
- ・海岸侵食対策事業：竹浦海岸(白老町)等

釧路湿原自然再生
(茅沼地区旧川復元)

④国内外に開かれた広域交通ネットワークの構築

- ・主要都市間を連絡する規格の高い道路、拠点的な空港・港湾へのアクセス道路等の重点的、効率的な整備
- ・国際海上コンテナ貨物等の輸送に係る機能強化

【指標】

東アジアとの外貿コンテナ取扱量：
約20万TEU(H19)→約30万TEU(H24)

【主要事業】

- ・地域高規格道路整備：道央圏連絡道路美原道路(江別市～当別町)等
- ・空港等高質化事業(物流機能の高質化)：新千歳空港(千歳市)
- ・国際海上コンテナターミナル整備事業：
：苫小牧港(東港区)：中央水路地区(苫小牧市)



道央圏連絡道路(美原道路)

⑤頻発する自然災害に備える防災対策の推進

- ・港湾における耐震強化岸壁の整備など、地震・津波に備えた防災対策の推進
- ・治水対策、土砂災害対策など根幹的な防災対策の推進



釧路港耐震強化岸壁整備イメージ

【指標】

港湾による緊急物資供給可能な人口：220,000人(H19)→470,000人(H24) 等

【主要事業】

- ・耐震強化岸壁整備事業：釧路港東港区(釧路市)等
- ・河川改修事業：大和田遊水地(留萌市)等